

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点



中野通り－2

平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」と歩いてきました。

今回は「中野通り」を歩いています。中野通りは甲州街道の渋谷区笹塚二丁目の笹塚交差点を起点に、新宿区西落合四丁目の目白通りの南長崎六丁目交差点に至る延長約7kmの道です。写真右上は中野通りの道路名標識（都道420号線）です。前はJR中野駅南口交差点まで歩きました。

今回はJR中野駅南口から終点の南長崎六丁目交差点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[中野駅南口交差点] 中野区中野三丁目

最寄駅 JR中央線 中野駅

JR中野駅南口交差点（写真下左）を進み、ガードをくぐるとJR中野駅北口交差点に出ます。写真下右は交差点の上から見た中野通りです。前方方向に進みます。



左の写真で右の建物は1973年(昭和48年)開業した複合施設の「中野サンプラザ」です。2023年(令和5年)7月2日閉館して、2028年竣工で文化複合施設に生まれ変わる予定です。左隣は「中野区役所」です。寅さん歩 265 官公庁の食堂めぐりー19 中野区役所をご覧ください。

[新井交差点] 中野区中野四丁目 最寄駅 JR中央線 中野駅

新井交差点(写真下右)で早稲田通り(都道25号線)と交差します。左へ行くと善福寺方面、右へ行くと高田馬場方面です。



[新井五差路交差点] 中野区新井二丁目

最寄駅 西武新宿線 新井薬師前駅

中野通りは新井五差路交差点（写真下右）を直進します。
左へ行くと沼袋方面です。五差路の3本の道は細い道でした。



[新井天神 北野神社] 中野区新井四丁目

最寄駅 西武新宿線 新井薬師前駅

すぐ左に新井天神 北野神社鳥居（写真下左）があります。



本殿（写真左）の手前に祀られているのは菅原道真ゆかりの撫で牛像（写真上右）で、皆さんに撫でられて光っています。
北野神社の創建年代は不詳ですが、新井薬師を創建した行春が菅原道真を祀る祠を建てたのが、その始まりだとの説があります。

[新井薬師 梅照院] 中野区新井五丁目

最寄駅 西武新宿線 新井薬師前駅

すぐ右側にある「新井薬師公園」を入ると奥に「新井薬師（梅照院）」の本殿脇に出ます。写真下左は正門から奥にある本殿（写真下右）を眺めました。真言宗豊山派の寺院で創建年代は不詳です。二代将軍徳川秀忠の五女の眼病が回復したと眼病治癒のご利益があると伝えられています



[下田橋・妙正寺川] 中野区松が丘一丁目

最寄駅 西武新宿線 新井薬師前駅

中野通りに戻り進み、妙正寺川にかかる下田橋（写真下左）を渡ります。妙正寺川は杉並区妙正寺公園内の妙正寺池を水源に中野区で江古田川と合流、新宿区下落合で神田川と合流します。写真下右は上流の江古田方面を見ました。



[哲学堂公園] 中野区松が丘一丁目

最寄駅 西武新宿線 新井薬師前駅

右側に1904年（明治37年）に創られた東京ドーム約1.5倍の敷地を有する自然豊かな「哲学堂公園」（写真下左）があります。

「哲学をテーマにした精神修養」をコンセプトに、園内には哲学に由来する建築物や碑、池や坂などが点在し、哲学世界を視覚的に表現し、世界でも類を見ないユニークな公園です。2009年（平成21年）東京都の名勝に指定されています。東洋大学の創始者である井上円了は、自らに考えを具現化した空間として「哲学堂」を建立しました。写真下右「六賢台」です。東洋の賢人として聖徳太子、菅原道真、荘子、朱子、龍樹、迦毘羅（かびら）の日本、中国、インドから選ばれた六賢者が祭られています。庭内には七十七場があり、のんびりと歩く哲学体験をお勧めします。



[蓮華寺下交差点] 中野区江古田一丁目

最寄駅 西武新宿線 新井薬師前駅



蓮華寺下交差点（写真上右）で新青梅街道（都道 440 号線）に突き当たります。左へ行くと井草方面、右折して目白方面へ進みます。右側はまだ哲学堂公園です。

[蓮華寺] 中野区江古田一丁目 最寄駅 西武新宿線 新井薬師前駅

交差点正面が蓮華寺（写真下左右）です。中に入って見ました。



[井上円了の墓] 蓮華寺境内

本堂手前左側に東洋大学創始者、哲学堂建立者の井上円了(1858～1919)の墓（写真下左右）がありました。お墓は井の字の形をした石の上に円形の石が乗せられ、井上円了の名を示しています。



[次の交差点] 中野区江古田一丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 落合南長崎駅

名前のない交差点なので次の交差点（写真下右）とします。

中野通りは左折です。直進すると目白・飯田橋方面、右は哲学堂通りです。

中野通りが新宿区との区境です。



[みずの塔] 中野区江古田一丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 新江古田駅



左側に「水の塔公園」があり、中に入ると「みずの塔」（写真左）がありました。野方配水塔で荒玉水道の給水場に造られた塔で、ドーム型屋根が特徴的です。1929年（昭和4年）まで使われていました。現在は震災対策用応急給水施設（地下に100 m³の新鮮な水を用意）です。塔は国の登録有形文化財に指定されています。

[南長崎六丁目交差点] 新宿区南長崎六丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 新江古田駅

目白通り（都道 8 号線）と交差する南長崎六丁目交差（写真下右）が中野通りの終点です。左へ行くと新江古田駅・豊玉方面、右へ行くと落合南長崎駅。中落合方面です。



起点から終点まで歩き、古くかつ新しい見所が点在していたという印象が強く残りました。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩 379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。連絡を取り合って、どこかの宿でバーチャル宴会をしたいですね。皆様の旅の進度のご連絡をお待ちしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年9月13日箱根宿（現在の神奈川県足柄下郡箱根町）（江戸日本橋から98km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真左は「箱根 湖水園」です。箱根の山道を大名行列が粛々と進んで行きます。険しい岩山を色彩豊かに表現しています。芦ノ湖を取り囲む山々の向こうに真っ白な富士山が見えます。

寅次郎、箱根は神奈川県在住の時に幾度となくウォーキングで訪れています。石畳の道、甘酒茶屋、寄せ木細工の里、杉並木、箱根神社、箱根関所、芦ノ湖など多くの思い出が残っています。

温泉まんじゅう（写真下左）、甘酒茶屋の甘酒と力餅、寄せ木細工（写真下右）が名物です。



毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2 kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝

